

不登校児童生徒の支援について

～スペース・イオの実践から～

- 1 不登校をとりまく状況について
- 2 スペース・イオについて
- 3 児童生徒の支援にあたって

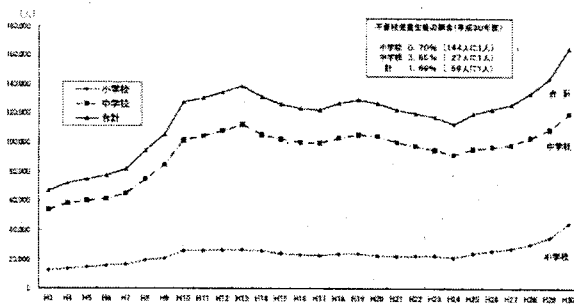
秋田明徳館高等学校 スペース・イオ 加藤しおり

不登校とは

文部科学省による不登校の定義

何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの

不登校児童生徒数の推移



平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より (国公立小・中学校対象)

秋田県の不登校の状況

公立小・中学校における不登校児童生徒数 ()は国立を含む (人)

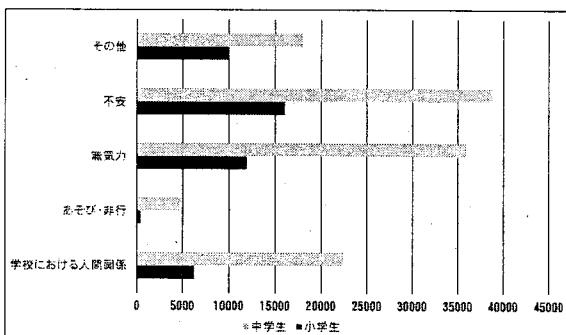
	H28年度	H29年度	H30年度
小学校	117 (119)	144 (145)	205 (207)
中学校	515 (518)	581 (586)	714 (724)
合計	632 (637)	725 (731)	919 (931)

1,000人当たりの不登校児童生徒数 (国公立小・中学校) (人)

校 種	H28年度		H29年度		H30年度	
	秋田	全国	秋田	全国	秋田	全国
小学校	2.6	4.7	3.3	5.4	4.8	7
中学校	21	30.1	24.5	32.5	31.3	36.5
平均	9.1	13.5	10.8	14.7	14.1	16.9

平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

不登校の要因



平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より (国公立高校対象)

不登校とは

- 不登校は、取り巻く環境によっては、どの児童生徒にも起こり得るものとして捉え、不登校というだけで問題行動であると受け取られないよう配慮する
- 不登校児童生徒への支援は、当該児童生徒の意思を十分に尊重しつつ行う
- 当該児童生徒や保護者を追い詰めることのないよう配慮する

スペース・イオとは

- 不登校の小学生、中学生、中卒生(在学中に不登校状態であり、卒業年に高校等を受検せず、1年から2年かけて高校受検を目指す者)を対象に、主に学習支援をととして「心の居場所」を提供している施設
- 県立の高等学校内に小学生、中学生を対象とした不登校支援施設があるのは全国にも類をみない取組



※秋田明徳館高等学校(3階)の一角→

スペース・イオの根幹

子どもは「学びたい」という思いをもっている



スペース・イオの支援プログラム

	月	火	水	木	金
9:45~10:30	読書 スキルアップ 個別学習 自学自習	読書 スキルアップ 個別学習 自学自習 相談タイム	読書 スキルアップ 個別学習 自学自習	読書 スキルアップ 個別学習 自学自習	読書 スキルアップ 個別学習 自学自習 連絡タイム
10:45~11:30	SB5国語 個別学習 自学自習	SB5数学 個別学習 自学自習 相談タイム	SB5理科 個別学習 自学自習	SB5社会 個別学習 自学自習	SB5英語 個別学習 自学自習
11:45~12:30	SB5社会 個別学習 自学自習	SB5英語 個別学習 自学自習 相談タイム	SB5数学 個別学習 自学自習	SB5国語 個別学習 自学自習	SB5理科 個別学習 自学自習
13:15~14:00	カルチャー&アドベンチャー 自学自習	ソーシャルスキルトレーニング エンカウンター 自学自習	音楽リラクション 自学自習	カルチャー&アドベンチャー 自学自習	スタディワーク (課・社) 自学自習
14:10~15:00		中3トライアル (国英数)		中3トライアル (国英)	

学習支援プログラム

集団適応支援プログラム

●自分で通所する日や時間、内容を決めて取り組む

学習計画表

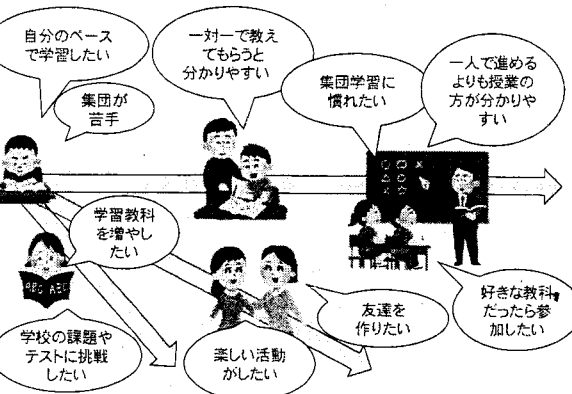
自己選択・自己決定の経験を積む

小さな「成功」を積み重ねる

少しずつ慣れることができる!

「できる」やり方を考えることで自己理解を促す

変化が実感できる!



●一人一人のニーズやタイミングに合わせた活動の選択

IT等を活用した学習支援

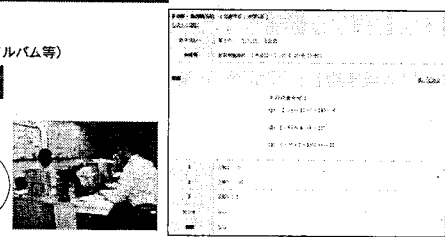
- 家庭での学習を希望する場合、インターネット通信、FAX、郵便等を使って学習支援を行います。
- 家庭訪問による対面指導を受けるなどの条件を満たすことにより在籍校での出席日数として認められます。

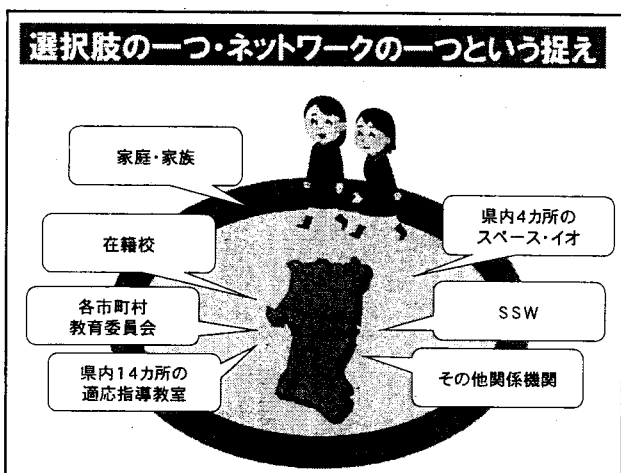
1 NTTWEBで宿題によるIT学習

- ・学習送信機能
- ・メール機能
- ・その他(掲示板、アルバム等)

2 郵送・FAX

学習をとおして、「外」とつながったり、生活習慣を整えたりすることを期待している





不登校をとりまく状況について

義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律（平成29年2月施行）

《基本理念》

- 1 全児童生徒が豊かな学校生活を送り、安心して教育を受けられるよう、学校における環境の確保
- 2 不登校児童生徒が行う多様な学習活動の実情を踏まえ、個々の状況に応じた必要な支援
- 3 不登校児童生徒が安心して教育を受けられるよう、学校における環境の整備
- 4 義務教育の段階の普通教育に相当する教育を十分に受けていない者の意思を尊重しつつ、年齢又は国籍等にかかわらず、能力に応じた教育機会を確保するとともに、自立的に生きる基礎を培い、豊かな人生を送ることができるよう、教育水準を維持向上
- 5 国、地方公共団体、民間団体等の密接な連携

不登校児童生徒支援の視点

「不登校児童生徒への支援の在り方について」
文部科学省（平成28年9月14日）

「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す

見落としてはいけない視点

「生きる力」を育む

暮らす 働く 楽しむ

その子なりの「自立と社会参加」ができるように！！

支援に向けて

視野は長期的に、支援はスモールステップで！

何に困っている？

今できることは何か？

「少し先」の目標は…？

保護者に過度の期待を求めるとみんなが辛くなる

支援に向けて

一つの言葉に「真の意味」を与えない

おなか痛い…でも学校行かないと…

やっぱり無理…今日は休む…

どっちでもいいよ…まかせよう

あ…結局休んだ…ふうん…

支援に向けて

解決志向（解決モード）で対応する

問題モード

解決モード

問題や原因に焦点を当て、その改善や治療を目指す

解決や未来の状態にできることやしたいことの実現を目指す

これしかできない

現状

ここまでできる

支援に向けて

「できる例外さがし」を覚えたい

それで「できる状況」をつくれませんか？

どんなときにできた？

「まったくできない」ではないという気づき！

今できていること時々できること

勉強しても眠くならなくて楽だったし、勉強がはかどった！

昨日10時にゲームやめて布団に入った

今日は早く起きられた！

支援に向けて

リフレーミング（物事の見方を変える）をしてみる

見方を変えることで、良さや支援の方向性が見えてくることも…!!

落ち着きがない

こだわりが強い

細かいことを気にする

行動力がある

専門知識が豊富

慎重な性格

支援に向けて

数字に置き換えることで見えてくるものもある

10点満点のうち、今の気持ち（状況）は何点？

どうすればもう1点上がる？

今は5点…

2点上がった！何が起きたの？

3点…

3点…辛いね0点でないのはどうして？

支援に向けて

目指したいところ…

完璧でなくていい

自分の「考え方の癖」が分かる

自分の「得意」と「苦手」が分かる

困ったときにヘルプコールが出せる

ちょっと楽になる方法が分かる

実行できそうなことを考えて取り組むことができる

自分の良さを認められる

支援にあたっての願い

長い時間をかけて「生きる力」を育てていく

生きづらさを抱えていても、またつまづいても、対処して乗り越えていける力を身に付けていけるといい…